

戦争と国家、そしてナショナリズム

福田 宏 hfukuda@juris.hokudai.ac.jp

<http://hfukuda.cool.ne.jp/hokudai04a/>

(法学部 321 号室・706-3784)

I. 日本人であることとは？

1. 地図の想像力 —— 国境はどのようにして認識されるのか？

・伊能忠敬(1745-1818) —— 『四千万歩の男』(井上ひさし)

・北方四島をめぐる日ソの攻防 —— 千島列島と樺太(サハリン)

【歯舞諸島・色丹と国後・択捉の行方】

日露通好条約(1855) —— 択捉島以南を日本に、ウルップ島以北を露に

樺太島仮規則(1867) —— 樺太の日露両属、両国人の全島自由往来

樺太・千島交換条約(1875) —— 日本側は樺太を放棄、千島を獲得

ポーツマス条約(1905) —— 日本は樺太の北緯 50 度以南を獲得

対日講和条約(1951) —— 日本は千島列島を放棄(国後、択捉を含む?)

日ソ共同宣言(1956) —— 平和条約後に歯舞、色丹の返還を約束?

2. 「国語」の思想 —— 標準語はどこから来たのか？

・『国語元年』(井上ひさし)における「全国統一話し言葉」の模索?

「ディスカッション」を目指す福沢諭吉

言文一致を目指す二葉亭四迷の苦勞 —— 『浮雲』(1887, M20- 未完)

森有礼(1847-1889)の「日本語廃止論・英語採用論」(1873 年頃, M6)

・日本の教科書から消えた小説「最後の授業」(1873)

アルフォンス・ドーデ(1840-1897)の位置づけ

アルザス・ロレーヌはフランス固有の領土?

3. 国民の身体を構築せよ —— 規律化と富国強兵の一環として

・初代文部大臣 森有礼の「運動会」行脚(1885, M18-)

農耕民族は軍隊に向かない!? → 「兵式体操」の奨励

・「万歳」の発明 —— とにかく盛り上げよ! → 憲法発布の祭典(1889, M22)

・「遅刻」の誕生 —— 画一的な近代的時間の流れ

4. 御真影に見る天皇像の変遷

・天皇を見る眼差し —— 見られる存在としての天皇(六大巡幸 M5-M18)

・全ては御真影(M21-)のために —— 火事の中に飛び込む校長先生

=====

5. 「単一民族の神話」という神話

日本民族はもと単一民族として成立したものではない。上代においてはゆるる先住民族や大陸方面からの帰化人がこれに混融同化し、皇化の下に同一民族

たる強い信念を培はれて形成せられたものである。(文部省社会教育局『国民同和への道』1942年, 15頁. 小熊『単一民族神話の起源』3頁より再引用)

6. 「平和愛好国民」への道？

- ・《民族独立行動隊の歌》—— 日本共産党(1950)

民族の自由を守れ 蹶^{けつ}起^きせよ 祖国の労働者
榮^はえある革命の伝統を守れ 血潮には 正義の血潮もて叩き出せ
民族の敵 国を売る犬どもを 進め 進め 団結固く / 民族独立行動隊
前へ前へ進め / 民族独立勝ち取れ ふるさと 南部工業地帯
ふたたび焦土の原と化すな 暴力^{ちから}には 団結^{ちから}の美力もて叩き出せ ...

- ・1955年体制における論点の変化 —— 「九条=安保」体制

II. 国民（ネイション）、そしてナショナリズムとは何か？

1. 国民（ネイション）を生み出す構造

- ・「想像の共同体」=「国民」はいつ誕生したのか？

同胞へのイマジネーション —— 凱旋門の下に置かれた無名戦士の墓
出版資本主義 —— 一日限りのベストセラーとしての「新聞」
役人の「巡礼」 —— 国家の空間的広がりを「想像」する！

- ・「国民」は近代的な現象である

産業革命の衝撃 —— 労働者の技術と読み書き能力、工場の規律
国民教育 —— 共通了解の土台 —— 標準語と「国民の歴史」
国民軍の誕生 —— 地域を越えた連帯感、「お国のために死ぬ」

2. 国民はもはや不要なのか？

- ・近代的な市民社会のために → 国民の「誇り」？

道徳心、公共心、アイデンティティー、「自虐的」ではなく？ etc.

III. エピローグ —— まとめに代えて

1. この授業のねらいと目標達成度

- ・アメリカは「帝国」なのか？
 - ・[事例研究] アフガニスタンとイラク
- ・戦争とメディアの関係 —— 真実と客観性は存在しうるか？
 - ・[事例研究] ユーゴスラヴィア紛争
- ・日本はどうするべきか？ —— 国民として、個人として
 - ・[事例研究] イスラエルとパレスチナ
- ・ナショナリズムとは何か？ —— それでも国民は必要なのか？

2. 「無知の知」 —— ゴールは存在しない

真実を知るといふことは？、価値観の違いとは？

3. 意見を表現するということ

対話、「敵」を知ること、話す・書くという行為

IV. 最終レポート締切は、7月27日(火) 17時（事務室前レポート・ボックス）

28日(水) 正午（掲示板で面接時間の告知）

28日(水) 時間の変更を希望する者は17時までにメールで連絡

30日(金) 9-12時（面接・希望者のみ, E320）

- ・2000字以上、テーマは自由
- ・締切厳守
- ・参考にした文献、資料を明記すること
- ・面接を希望する者は、その旨明記すること（希望時間も）

V. 参考文献リストの意味 —— 出発点として

VI. 授業アンケートの実施（最後の10分）